



和歌三首

母に別れて戦地におもふく時

ささくませませささくいませ母君よ

いさををたて、我歸るまで

戦中折にふれたる

すてし身のほかにのそみはなれとも

よみ人しらず

四十八

心しつかに一夜ねてしか

折にふれたる

あらなみのさかまくそこや遂に我

葬らるべきところなるらむ

折にふれて

田 鶴 子

かひえつる稚兒をいたきて船いくさ

みはてぬ夢のあとをしぞ思ふ

かちいくさ我にありとは知りつゝも

なほ安かれといのる神垣

やがて我が勝にやならんよこしまの

道のとほりしためしなれば

むれてとぶ鳩の羽風はいかはかり

大御軍に力をへけむ